

# 奈良国立文化財研究所要項

## I 事業概要

### 1 研究普及事業

#### 公開講演会

- (1) 1982年5月29日 第51回公開講演会  
「藤原宮その後一廃都後の土地再開発について」 川越 俊一  
「飛鳥石神遺跡の発掘調査」 西口 寿生
- (2) 1982年11月20日 第52回公開講演会  
「伝統的町並の再生」 村上 諒一  
「奈良三彩の造形意匠について」 西 弘海
- (3) 「飛鳥の水時計」講演会 (後援朝日新聞社)  
1982年6月4日 大阪普門館ホール  
1982年6月10日 朝日新聞東京本社ホール  
坪井清正・狩野 久・木下正史・山田慶児(京大)

#### 現地説明会

- (1) 1982年6月19日 石神遺跡発掘調査現地説明会 上原 真人
- (2) 1982年6月26日 平城宮跡第139次現地説明会 佐藤 信

- (3) 1982年10月30日 山田寺跡発掘調査現地説明会 川越 俊一
- (4) 1982年11月27日 桧隈寺跡発掘調査現地説明会 土肥 孝
- (5) 1982年12月18日 平城宮跡第140次現地説明会 岩永 省三
- (6) 1983年3月5日 平城宮跡第146次現地説明会 杉山 洋

#### 平城宮跡資料館・覆屋公開

- (1) 春季特別公開 1982年4月24日～5月5日  
見学者 8,994名
- 秋季特別公開 1982年10月23日～11月7日  
見学者 11,566名
- (2) 見学者数

区 分	資料館	覆 屋	計
1982年	69,413	59,658	129,071
累 計	508,298	880,614	1,385,912

\* 資料館は1970年度・覆屋は1968年度以降

### 2 1982年文部省科学研究費補助金による研究

種 別	研 祝 課 題 旨	研究代表者	交 付 額
特 定 研 究	遺構遺物の探査および保存修復に関する研究	田 中 琢	19,500千円
総 合 研 究 A	残存脂肪成分の分析による原始古代生活の復原的研究	佐 原 真	3,300
一 般 研 究 B	南都七大寺所用瓦の製作技法と瓦当紋様の研究	山 本 忠 尚	1,000
〃	英彦山宿坊庭園遺跡群の実証的研究	安 原 啓 示	500
〃	先史時代の漆製品に関する基礎的研究	工 染 善 通	4,700
〃	古代埋蔵建築遺材の復原的研究	宮 本 長 二 郎	4,100
一 般 研 究 C	墨書土器による律令機構末端組織の復原的研究	森 郁 夫	2,000
〃	遺跡・遺物からみた国分寺僧房に対する基礎的研究	千 田 剛 道	400
奨 励 研 究 A	木簡・墨書土器からみた古代財政組織の研究	佐 藤 信	800
〃	人面土器の研究	巽 淳一郎	700
〃	甲冑出土古墳の研究	小 林 謙 一	900
〃	「ヘラ記号」をもつ土器に関する基礎的研究	西 口 寿 生	900
試 験 研 究 (2)	航空写真の活用システムの開発	伊 東 太 作	2,000
試 験 研 究 (1)	埋蔵文化財データ・ベースの開発研究	坪 井 清 足	8,800
計	14 件		49,600

### 3 飛鳥資料館の運営

#### 展 示

- 第一展示室 常設展示
- 第二展示室 特別陳列「飛鳥の王陵」  
(1982.4.20～1982.5.30)

特別展示「高松塚拾年」

(1982.10.6～1982.11.23)

#### 普 及

インフォメーションルームで観覧者の質問に応じている。また特別展示のカタログとして「飛鳥の王陵」及び「高松塚拾年」を刊行した。

入館者数（1982.4.1～1983.3.31開館日数309日）

	普通観覧	団体観覧	有 料	無 料	合 計
一 般	48,222	27,483	197,253	10,826	208,079
高・大	15,786	31,429			
小・中	13,675	60,658			
計	77,683	119,570			

模造製作

- 高松塚古墳保存施設断面模型（1/20）
- 高松塚古墳壁画修復状況（1/1）
- 藤原宮跡等出土木簡
- 石像浮彫如来及両脇侍像（古法華）付属部

4 埋蔵文化財センターの研修・指導

研 修 埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（集落遺跡調査課程）  
1982年5月10日～5月22日（参加者25名）
- (2) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（土器調査課程）  
1982年6月21日～7月3日（参加者22名）
- (3) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等一般研修（一般課程）  
1982年7月22日～8月28日（参加者25名）
- (4) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等特別研修（埋蔵文化財基礎課程）  
1982年9月6日～9月10日（参加者35名）
- (5) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（遺跡測量課程）  
1982年9月20日～10月9日（参加者16名）
- (6) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（環境考古課程）  
1982年10月20日～11月5日（参加者16名）
- (7) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（保存科学基礎課程）  
1982年11月17日～11月30日（参加者16名）
- (8) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（保存科学応用課程）  
1982年12月1日～12月10日（参加者8名）
- (9) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（墳墓調査課程）  
1983年1月21日～2月1日（参加者30名）

(10) 昭和57年御埋蔵文化財発掘技術者等特別研修（近畿地方出土木器資料集成）  
1983年2月9日（参加者16名）

(11) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修（遺跡保存整備課程）  
1983年2月21日～3月5日（参加者25名）

(12) 昭和57年度埋蔵文化財発掘技術者等特別研修（特殊調査技術課程）  
1983年3月10日～3月15日（参加者18名）

(13) 研修員受入

橋本 清一 京都府立山城郷土資料館調査員

1982年4月20日～1983年3月31日

大塚 健 福岡県教育委員会文化課技術補佐

1982年6月7日～6月12日

長谷川 真 兵庫県教育委員会社会教育・文化財課県立博物館設立準備室技術職員

1982年6月14日～8月14日

橋本 俊士 三重県立上野高等学校教諭

1982年7月1日～9月30日

川村 輝夫 三重県多気郡多気町・松阪市学松組合立多気中学校教諭

1982年7月1日～7月21日

1982年8月29日～9月30日

田阪 仁 三重県嬉野町立中原小学校教諭

1982年10月1日～12月28日

中川 善夫 三重県鈴鹿市立栄小学校教諭

1982年10月1日～12月28日

松田 朝雄 沖縄県今帰仁村教育委員会文化財担当

1982年7月19日～7月24日

孫 永植 大韓民国文化財管理局補修課土木技佐

1982年9月28日～1983年3月27日

発掘調査・整備・探査指導

（北海道）高砂遺跡，開陽丸発掘調査，（青森県）弘前城三の丸庭園，垂柳遺跡，（岩手県）毛越寺康園，志波城跡（宮城県）多賀城跡，（福島県）慧日寺跡地内徳一廟塔，上町遺跡（茨城県）神野向遺跡，（群馬県）上野国分寺跡，（東京都）

前田耕地遺跡、(富山県)じょうべのま遺跡、(福井県)一乗谷朝倉氏遺跡、(山梨県)寺本庵寺跡、(長野県)森將軍塚古墳、松本城二の丸康園、信濃国府、恒川遺跡群、(静岡県)興国寺城跡、尾上イラウネ遺跡、小田原城跡米曲輪、(愛知県)妙興寺境内、勝川庵寺遺跡、尾張国府跡、(三重県)斎宮跡、草山遺跡、西明寺遺跡、(滋賀県)斗西遺跡、延暦寺、(京都府)長岡宮跡、松花堂跡、小栗瓦窯跡、古殿遺跡、丹波国分寺跡、西光寺康園、竹野遺跡、(大阪府)西浦橋遺跡、難波宮跡、(兵庫県)緑風台窯址、広渡庵寺、志知川沖田南遺跡、西神88号地点古窯址、辻井遺跡、砂部遺跡、栄根遺跡、篠山城二の丸、西条庵寺、札馬古窯跡、殿原庵寺跡、繁昌庵寺跡、三ツ塚庵寺、丹波国大山荘、(奈良県)荒坂窯跡、飛鳥水落遺跡、(和歌山県)磯間岩陰跡、三栖庵寺、岩橋千塚古墳群、(鳥取県)上米積遺跡群、平野五号墳、上原遺跡、高畑遺跡、鳥取城跡、目久美遺跡、(島根県)寺床遺跡一号墳、神門寺境内庵寺跡、広瀬町内遺跡群、(岡山県)院庄館跡、美作国分寺跡、石の懸樋、美和山古墳群、(広島県)大当瓦窯跡、草戸千軒町遺跡、(山口県)長門国分寺跡、朝田墳墓群、延行条里遺跡、周防国府跡、須佐唐津窯跡、大内氏遺跡、土井ヶ浜遺跡、綾羅木郷遺跡、(徳島県)阿波国府跡、(香川県)川上古墳、王墓山古墳、(愛媛県)伊予国府跡、経ヶ岡古墳、(高知県)土佐国衙跡、(福岡県)王塚古墳(佐賀県)山ノ寺遺跡、久保泉丸山遺跡、名護屋城跡、肥前国府跡、(長崎県)市ノ瀬窯跡、(熊本県)国分僧寺、(宮崎県)宮崎学園都市遺跡、(鹿児島県)橋牟礼川遺物包蔵地、薩摩国分寺跡、王子遺跡、(沖縄県)今帰仁城、ピロースク遺跡、座喜味城、野国貝塚

**埋蔵文化財ニュース刊行**

- 第37号 写真測量による遺跡遺物の実測作業外注管理
- 第38号 埋蔵文化財関係報告書一覧
- 第39号 行政データ・埋蔵文化財関係記事一覧
- 第40号 飛鳥白鳳寺院発掘調査文献目録

**5 その他**

**委員会等**

第9回飛鳥資料館運営協議会

- 1982年5月25日 於飛鳥資料館  
平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会
- 1982年6月18日・19日 於平城資料館講堂  
条里制研究会(第2回)
- 1983年1月25日・26日 於平城資料館講堂

**外国出張**

岩本次郎 文部省在外研究員として方格地割(条里制とケンチュリア)の歴史的展開に関する研究のためイタリア、チュニジア、フランスへ出張。

1982年10月3日～同年11月29日

**協力事業等**

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが、1982年度の状況は下記の通り。

区分	面積	金額
1982年度	11,024.61㎡	237,204,342円
国有地合計	256,610.80	5,267,835,610

**II 図書及び資料**

図書 66,836冊

区分	種別	購入	寄贈	計
1982年	和漢書	2,834	3,086	5,920
	洋書	357	87	444
累計	和漢書	33,385	28,952	62,337
	洋書	3,862	637	4,499

写真 243,358点 (1982年度末現在)

**III 研究成果刊行物**

**1 1982年刊行物**

名 称	
史料	第24冊 東大寺文書目録第5巻
	第25冊 平城宮出土墨書土器集成I
図録	第9冊 高松塚拾年
報告書等	昭和56年度平城宮跡発掘調査概報
	飛鳥・藤原宮発掘調査概報12
	平城宮発掘調査出土木簡概報15
	平城京東堀河 平城京左京四条四坊
	九坪発掘調査報告 平城京朱雀大路
	発掘調査報告1982 奈良町(1)
	遺跡整備資料II 条里制の諸問題I
	南都七大寺軒瓦型式一覧(1)法隆寺

## 2 前年度までの刊行物

### 奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称
1954	第1冊	仏師運慶の研究
	第2冊	修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊	文化史論叢
1956	第4冊	奈良時代僧房の研究
1957	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊	中世庭園文化史
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊	文化史論叢Ⅱ
	第9冊	川原寺発掘調査報告
1960	第10冊	平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
1961	第11冊	院家建築の研究
1962	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊	レースと金亀舎利塔に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査
1963	第16冊	平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査
	第18冊	小堀遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立
1971	第21冊	研究論集Ⅰ
1973	第22冊	研究論集Ⅱ
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告Ⅴ 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告一
1975	第25冊	平城京左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告Ⅶ
	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ
	第28冊	研究論集Ⅲ
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
1976	第30冊	五条一町並調査の記録一
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ
	第32冊	研究論集Ⅳ
	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告Ⅸ
1978	第35冊	研究論集Ⅴ
	第36冊	平城宮整備調査報告Ⅰ
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ
	第38冊	研究論集Ⅵ
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告Ⅹ
1981	第40冊	平城宮発掘調査報告Ⅺ

### 奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集(複製)
1955	第2冊	西大寺叢尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡1 図版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第7冊	平城宮木簡1 解説(別冊)
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 図版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻

### 奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名	称
1973	第1冊	瓦編1 解説
1974	第2冊	瓦編2 解説
1975	第3冊	瓦編3
1976	第4冊	瓦編4
	第5冊	瓦編5
1978	第6冊	瓦編6
1979	第7冊	瓦編7
1980	第8冊	瓦編8

### 飛鳥資料館図録

年度	名	称
1976	第1冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊	日本古代の墓誌
1978	第4冊	日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊	古代の誕生仏
1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺
1980	第7冊	日本古代の鷄尾
1981	第8冊	山田寺展

#### IV 定員

区分	指定職	行政(一)	行政(二)	研究職	計
1982年度	1	22	6	66	95
1983年度	1	22	5	67	95

#### V 予算 (1982年度)

人件費	442,502千円
運営費	630,164
事業管理	4,547
一般研究	58,043
特別研究	1,692
発掘調査	386,369
宮跡整備管理	51,289
飛鳥資料館運営	48,713
埋蔵文化財センター運営	42,519
新庁舎維持管理等経費	36,992
施設費	330,466
施設整備費	25,118
平城宮跡等整備費	305,348
各所修理	7,922
計	1,411,054

#### VI 施設

##### 土地

(当所所管) 32,501㎡

本庁舎 8,860㎡ 飛鳥資料館 17,092㎡

飛鳥資料館宿舎 1,343㎡ 郡山宿舎 80㎡

春日野 5,126㎡

(文化庁所管) 1,288,031㎡

平城宮跡地区 1,026,380㎡

藤原宮跡地区 256,610㎡

飛鳥稲渕宮跡地 5,041㎡

##### 建物

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	春日野	計
事務室	568	138	116	90	912	
研究室	1,419	252	274	77	2,022	
資料・図書室	1,021		36	36	1,093	
会議室	338	64	53	42	497	
講堂		384		89	473	
展示室		576		648	1,224	
写真室	79	256	61	64	460	
覆屋・棟		1,686			1,686	
車庫	84	200	204	94	582	
倉庫・庫	123	4,945	1,958	480	7,506	
研修棟	1,416				1,416	
その他	1,745	2,131	251	1,062	1,079	6,268

計	6,793	10,632	2,953	2,682	1,079	24,139
重要文化財旧米谷家住宅						213
郡山宿舎(一), (二)						153
飛鳥資料館宿舎						225
合計						24,730

#### 主要工事

##### (1) 施設整備費

飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺物倉庫新営 千円

工事(建設省委任工事) 4,898

奈良国立文化財研究所覆屋改修工事 20,000

##### (2) 平城宮跡地等整備費

平城宮跡環境整備工事 3,900

昭昭和57年度第Ⅰ期工事 69,900

第Ⅱ期工事 60,000

第Ⅲ期工事 78,000

平城宮南面大垣復原工事 89,500

その2工事 89,300

平城宮跡水銀灯改修等工事 4,600

地形調査工事 10,250

##### (3) 各所修繕

平城宮跡資料館とい改修工事 5,850

#### VII 人事異動

(1982年4月1日～1983年3月31日)

4月1日 飛鳥資料館庶務室長に昇任

中尾 重徳

平城宮跡発掘調査部主任研究官に転任

西 弘海

奈良工業高等専門学校学生課長に転任

森口 節之

宮内庁東宮侍従に転任

綾村 宏

文化庁文化財保護部記念物課文化財調

査官に転任 岡本 東三

山口大学人文学部助教授に転任

中村 友博

平城宮跡発掘調査部主任研究官に配置

換 上野 邦一

今泉 隆雄

飛鳥藤原宮発掘調査部主任研究官に

配置換 菅原 正明



三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務  
に関すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整す  
ること。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保  
全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属  
しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

一 予算に関する事務を処理すること。

二 経費及び収入の決算その他会計に関する事  
務を処理すること。

三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処  
理すること。

四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を  
処理すること。

五 庁内の取締りに関すること。

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び  
伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並び  
にその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに  
歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその  
結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査  
室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調  
査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次  
項から第六項までに定める事務を処理するほか  
その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第  
三調査室においては、別に定めるところにより  
分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び  
調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び  
調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び  
修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれ  
らの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び  
調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれ  
らの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一  
調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料  
調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地  
域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から  
第五項までに定める事務を処理するほか、その  
発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室におい  
ては、別に定めるところにより分担して、遺物  
(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びに  
これらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び  
調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに  
関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行  
う。

5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び  
調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれ  
らの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴  
史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深め  
るため、この地域に関する考古資料、歴史資料  
その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に  
供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事  
業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置  
く。

2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計  
等に関する事務を処理する。

3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建  
造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資  
料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の  
作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料  
の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研  
究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及



び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

- 一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。
- 二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。
- 三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。
- 四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化センターに長を置く。

- 2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の五室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

- 2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

- 3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

- 4 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 5 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

- 6 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

### 奈良国立文化財研究所略年表

- |           |  |
|-----------|--|
| 昭和26.10.6 | 奈良文化財研究所設置準備規程(文化財保護委員会裁定第11号)により設置準備会発足。  |
| 27.4.1    | 文化財保護委員会の附属機関として奈良文化財研究所設置。                |
| 29.7.1    | 奈良国立文化財研究所と改称。                             |
| 35.10.15  | 平城宮跡に発掘調査事務所設置。                            |
| 38.4.10   | 平城宮跡発掘調査部が設けられる。                           |
| 43.6.15   | 文化庁発足、その附属機関となる。                           |
| 45.4.15   | 平城宮跡資料館開館。                                 |
| 48.4.12   | 会計課、飛鳥藤原宮跡発掘調査部、飛鳥資料館設置。                   |
| 49.4.11   | 庶務部、埋蔵文化財センター設置。                           |
| 50.3.15   | 飛鳥資料館開館。                                   |
| 55.4.5    | 美術工芸研究室を奈良国立博物館(仏教美術資料研究センター)に移管。          |
| 55.4.25   | 庁舎移転(奈良市二条町)、併せて平城宮跡発掘調査部、埋蔵文化財センターを庁舎に統合。 |



職員 (1983年10月1日現在)

所属	氏名	官職	担当	
	坪井 清足	文部技官 所長		
庶務課	大村 幸男	文部事務官 部長		
	笹山 保美	文部事務官 課長	平城事務	
	織田 健藏	文部事務官 課長補佐	庶務人事	
	日高 參夫	文部事務官 専門係長	警備	
	藤原 賢二	文部事務官 警務員	警備	
	西 徹	文部事務官 警務員	警備	
	森田 光治	文部事務官 警務員	警備	
	岡田 博无	文部技官 警務員	警備	
	八幡 扶桑	文部技官 警務員	警備	
	六戸 雅子	事務補佐員	庶務	
	港 祝子	事務補佐員	庶務	
	村田 恵子	事務補佐員	庶務	
	新宮 忠子	事務補佐員	庶務	
	宮本 宣代	事務補佐員	庶務	
	中川 睦美	事務補佐員	庶務	
中垣 城きよ	事務補佐員	庶務		
部計課	松本 保之	文部事務官 課長	藤原事務	
	廣澤 常一	文部事務官 課長補佐	整備管理	
	福島 郁夫	文部事務官 課長補佐	経理	
	西田 健三	文部事務官 課長補佐	経理	
	渡辺 康史	文部技官 課長補佐	経理	
	小林 勝彦	文部事務官 経理	経理	
	前川 雅子	文部事務官 経理	経理	
	菊本 重子	事務補佐員	経理	
	橋元 洋子	事務補佐員	経理	
	新井 敬子	事務補佐員	経理	
	浅井 耕治	文部事務官 用度係長	用度	
	中西 正彦	文部事務官 用度係長	用度	
	垣内 建夫	文部技官 用度係長	用度	
	垣内 建夫	事務補佐員	用度	
	水田 季子	事務補佐員	用度	
部計課	水田 康史	文部技官 施設整備係長	施設	
	吉村 義徳	文部技官 施設	施設	
	大西 和子	文部技官 施設	施設	
	吉田 靖	文部技官 室長	建築	
	村上 詔一	文部技官 (併任)	建築	
	上野 邦人	文部技官 (併任)	建築	
	山岸 常人	文部技官 (併任)	建築	
	本中 真	文部技官 (併任)	建築	
	福山 敏男	文部技官 (非常勤)	建築	
	歴史研究室	吉田 靖	文部技官 室長	建築
		村上 詔一	文部技官 (併任)	建築
		上野 邦人	文部技官 (併任)	建築
		山岸 常人	文部技官 (併任)	建築
		本中 真	文部技官 (併任)	建築
		福山 敏男	文部技官 (非常勤)	建築
鬼頭 清明		文部技官 室長	歴史	
井上 和人		文部技官 (併任)	歴史	
藤原 信		文部技官 (併任)	歴史	
上原 真人		文部技官 (併任)	歴史	
杉山 洋		文部技官 (併任)	歴史	
寺崎 保広		文部技官 (併任)	歴史	
堀池 春峰		文部技官 (非常勤)	歴史	

所属	氏名	官職	担当			
古城第一調査室	岡田 英男	文部技官 部長	考古			
	工藤 善通	文部技官 室長	考古			
	松村 恵司	文部技官 室長	考古			
	杉山 洋章	文部技官 室長	考古			
	金子 裕之	文部技官 室長	考古			
	八幡 扶桑	文部技官 室長	考古			
	佃 幹雄	文部技官 室長	考古			
	藤田 千賀	文部技官 室長	考古			
	吉村 司朗	文部技官 室長	考古			
	石川 恵子	文部技官 室長	考古			
	古城第二調査室	森田 郁夫	文部技官 室長	考古		
		千田 剛道	文部技官 室長	考古		
		山崎 信二	文部技官 室長	考古		
		巽 淳	文部技官 室長	考古		
		西 弘海	文部技官 室長	考古		
古城第三調査室		山本 忠高	文部技官 室長	考古		
		岩澤 省三	文部技官 室長	考古		
		深澤 芳俊	文部技官 室長	考古		
		毛利 光俊	文部技官 室長	考古		
		遺構調査室	宮本 長二郎	文部技官 室長	建築	
			山岸 常人	文部技官 室長	建築	
			上野 邦人	文部技官 室長	建築	
			亀井 伸雄	文部技官 室長	建築	
			計測修景調査室	田中 哲雄	文部技官 室長	建築
				本中 昭人	文部技官 室長	建築
	内田 要一			文部技官 室長	建築	
	高瀬 村岡			文部技官 室長	建築	
	史料調査室			岡田 英男	文部技官 室長(取扱)	建築
				佐藤 義則	文部技官 室長(取扱)	建築
				橋本 保広	文部技官 室長(取扱)	建築
寺崎 保広				文部技官 室長(取扱)	建築	
部計課				上野 邦一	文部技官 主任研究官	建築
				金子 裕之	文部技官 主任研究官	建築
				西 弘海	文部技官 主任研究官	建築
		毛利 光俊		文部技官 主任研究官	建築	
		高瀬 伸雄		文部技官 主任研究官	建築	
		亀井 光治		文部技官 主任研究官	建築	
		森田 博无		文部事務官 (兼任)	建築	
		岡田 城きよ	文部事務官 (兼任)	建築		

所属	氏名	官職	担当
飛鳥	狩野 久	文部技官部長	
	佐藤 興治	文部技官室長	考古古真築
	藤本 圭輔	文部技官室長	考古古真築
	土肥 直孝	文部技官室長	考古古真築
	村上 井上	文部技官室長	考古古真築
	木下 正寿	文部技官室長	考古古真築
	西清水 立木	文部技官室長	考古古真築
	細見 啓三	文部技官室長	考古古真築
	大岩 本越	文部技官室長	考古古真築
	加藤 優太郎	文部技官室長	考古古真築
原	菅原 正明	文部技官室長	考古古真築
	川越 健一	文部技官室長	考古古真築
	飯田 信男	文部技官室長	考古古真築
	大西 洋子	文部技官室長	考古古真築
	稲垣 耕正	文部技官室長	考古古真築
	望月 伴子	文部技官室長	考古古真築
	宮川 雄二	文部技官室長	考古古真築
	泉 正志	文部技官室長	考古古真築
	滝本 正志	文部技官室長	考古古真築
	藤田 幸広	文部技官室長	考古古真築
宮	坪井 清足	文部技官館長(取扱)	
	中尾 重徳	文部技官室長	事務事務
	松本 正信	文部技官室長	事務事務
	飯田 二徳	文部技官室長	事務事務
	米田 義昭	文部技官室長	事務事務
	吉村 照子	文部技官室長	事務事務
	大谷 春雄	文部技官室長	事務事務
	乾 清	文部技官室長	事務事務
	藤本 敏子	文部技官室長	事務事務
	福井 敏子	文部技官室長	事務事務
飛鳥	菅原 正明	文部技官室長	考古古真築
	川越 健一	文部技官室長	考古古真築
	飯田 信男	文部技官室長	考古古真築
	大西 洋子	文部技官室長	考古古真築
	稲垣 耕正	文部技官室長	考古古真築
	望月 伴子	文部技官室長	考古古真築
	宮川 雄二	文部技官室長	考古古真築
	泉 正志	文部技官室長	考古古真築
	滝本 正志	文部技官室長	考古古真築
	藤田 幸広	文部技官室長	考古古真築

所属	氏名	官職	担当
飛鳥	兼勝 一夫	文部技官室長	考古古真築
	小林 謙一	文部技官室長	考古古真築
	小松 修	文部技官室長	考古古真築
	藤沢 一夫	文部技官室長	考古古真築
	田中 琢	文部技官室長	考古古真築
	若井 明	文部技官室長	考古古真築
	刀谷 敏博	文部技官室長	考古古真築
	竹島 弘美	文部技官室長	考古古真築
	佐原 真	文部技官室長	考古古真築
	松沢 亜生	文部技官室長	考古古真築
埋	町田 章人	文部技官室長	考古古真築
	上原 真人	文部技官室長	考古古真築
	西村 康	文部技官室長	考古古真築
	沢田 正昭	文部技官室長	考古古真築
	秋山 隆保	文部技官室長	考古古真築
	木全 敬修	文部技官室長	考古古真築
	松本 伊東	文部技官室長	考古古真築
	安原 啓示	文部技官室長	考古古真築
	光谷 拓実	文部技官室長	考古古真築
	伊東 太作	文部技官室長	考古古真築
蔵	中山 敏史	文部技官室長	考古古真築
	杉田 繁治	文部技官室長	考古古真築
	栗田 靖之	文部技官室長	考古古真築
	岩本 次郎	文部技官室長	考古古真築
	中川 隆	文部技官室長	考古古真築
	菅原 正明	文部技官室長	考古古真築
	川越 健一	文部技官室長	考古古真築
	飯田 信男	文部技官室長	考古古真築
	大西 洋子	文部技官室長	考古古真築
	稲垣 耕正	文部技官室長	考古古真築

